



2 管轄地域内における一般犯罪の傾向

(1) グアナファト州

・人口約 6 1 6 万人 犯罪認知総数 (1月～3月) 3 4, 2 0 4 件

殺人件数は減少傾向ではあるものの高止まりの状態が続いており、多くがレオン市やセラヤ市で発生しています。殺人事件が多い背景にはカルテルの抗争による影響が大きく、それに加えて故意傷害や強盗の件数も他の州に比べて高いため注意が必要です。

・邦人被害 (1月～3月) 4 件 (強盗被害 3 件、暴行被害 1 件)

運転中にパンクしたため停車、タイヤ交換中に凶器を所持した犯人が現れ、財布を取られる被害。渋滞で停車中、バイクで近づいてきた犯人に拳銃で脅され財布を取られる被害など、いずれも日中の明るい時間帯に発生しております。「まきびし」のようなもので意図的にパンクさせる手口もありますので、走行中にパンクした場合は可能な限りその場を離れるか、周囲の様子を確認してから停車(タイヤ交換)するようにして下さい。また、意図的にパンクさせられたと分かった場合は、すぐに 9 1 1 に連絡して警察を呼んで下さい。

その他、渋滞や赤信号で停車する場合は、車両一台分の間隔を開けて逃げられる体制を取ったり、運転中でもカバンなど貴重品は、外から目のつくところに置いておくことターゲットにされる危険性がありますので、助手席の足元など、外から容易に見えない場所に置いておくことも被害を避けるための対策となります。

■主な犯罪	4月～6月(件)	7月～9月(件)	10月～12月(件)	1月～3月(件)
故意殺人	735	690	676	623
故意傷害	3,411	3,013	3,231	3,146
強盗	2,169	2,487	2,537	2,512
窃盗	5,182	5,268	5,390	5,283
脅迫	2,723	2,389	2,622	2,466
誘拐	1	3	2	3
麻薬密売	6,277	6,295	6,098	5,861
強姦	232	214	246	226

(2) アグアスカリエンテス州

・人口約 1 4 2 万人 犯罪認知総数 (1月～3月) 9, 3 3 2 件

犯罪件数は少ない州ですが、犯罪発生率（人口の割合）では窃盗や強盗が多く発生している州です。犯罪の多くはアグアスカリエンテス市で発生しており、昨年は車上荒らしの邦人被害も発生しています。貴重品は車内に残さないなど犯罪に遭遇しないための対策をお願いします。

・邦人被害（1月～3月）0件

直近での邦人被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	4月～6月(件)	7月～9月(件)	10月～12月(件)	1月～3月(件)
故意殺人	20	21	26	19
故意傷害	965	868	823	787
強盗	222	213	223	203
窃盗	2,297	2,424	2,311	2,320
脅迫	922	938	893	887
誘拐	0	1	0	1
麻薬密売	152	120	90	714
強姦	95	96	83	85

(3) ハリスコ州

・人口約834万人 犯罪認知総数（1月～3月）32,714件

強盗が非常に多く発生している州です。特に強盗は邦人被害件数も多く、銃器を使用した犯行となっていることから、一歩間違えれば身体へ危害を加えられる可能性も非常に高く注意が必要です。早朝や夕方、人通りの少ない道路や店舗の利用は極力避けるなどの対策が必要です。

・邦人被害（1月～3月）2件（強盗未遂被害1件、詐欺被害1件）

前方を走行していた犯人車両が進路を塞ぐように急停車、被害者も急停車したところ、凶器を持った犯人が車から降りて暴行を受けたのち、車内を物色される被害が発生しております。急停車して進路を塞ぐ手口は、昨年も発生しており、中央分離帯が多いメキシコにおいては常套手段となります。車通りの少ない2車線以下の道路は、強盗のリスクが高くなりますので時間帯など考慮し遠回りでも安全な路程を選択してください。また、不審な車両が前方を走行している場合は、徐々に距離を開けるなどして離れるようにして下さい。

詐欺被害は、ATMを利用した直後にメキシコ人から言葉巧みに誘導され、もう一度のATM操作をしたところ、気づかないうちにカードをすり替えられ、全額引き出しされる被害が発生しています。ATMの利用中や、利用直後に話しかけられても相手にはせず、カードや現金等の貴重品から目を離さないようにして下さい。

■主な犯罪	4月～6月(件)	7月～9月(件)	10月～12月(件)	1月～3月(件)
故意殺人	520	433	427	373
故意傷害	2,203	2,018	1,872	1,867
強盗	4,544	4,929	4,757	4,098
窃盗	8,210	8,606	8,590	7,702
脅迫	2,658	2,628	2,434	2,556
誘拐	7	3	4	6
麻薬密売	267	292	300	318
強姦	141	127	137	110

(4) ケレタロ州

・人口約236万人 犯罪認知総数(1月～3月)13,369件

犯罪の多くがケレタロ市で発生しており、強盗・窃盗が多く発生しています。隣接しているグアナフアト州やメキシコ州、メキシコシティの治安も悪く、車両強盗も多く発生していますので注意が必要です。都市間の移動については、高速道路を利用して下さい。

・邦人被害(1月～3月)0件

直近での犯罪被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	4月～6月(件)	7月～9月(件)	10月～12月(件)	1月～3月(件)
故意殺人	57	42	49	33
故意傷害	1,359	1,152	1,137	1,026
強盗	623	576	598	754
窃盗	4,676	4,866	5,293	4,951
脅迫	1,168	979	835	928
誘拐	5	6	3	4
麻薬密売	264	275	331	288
強姦	168	165	181	154

(5) サンルイスポトシ州

・人口約282万人 犯罪認知総数(1月～3月)13,232件

犯罪の多くはサンルイスポトシ市で発生しております。邦人被害が多い強盗や窃盗は早朝や夜間のガソリンスタンドやコンビニで多く発生しておりますので注意して下さい。

・邦人被害(1月～3月)1件(車上狙い1件)

スーパーの駐車場に駐車して買い物をして戻ったところ、後部座席の窓ガラスが割られ、カバンを取られる被害が発生しております。貴重品は必ず携行し、貴重品が入ってなくても車から離れる場合は放置しないよう徹底して下さい。また、鍵をかけた後に車内を覗くなどして狙われるようなものがないか確認して下さい。

■主な犯罪	4月～6月(件)	7月～9月(件)	10月～12月(件)	1月～3月(件)
故意殺人	188	140	124	145
故意傷害	1,156	954	938	859
強盗	832	969	1,296	1,012
窃盗	2,418	2,759	2,906	2,745
脅迫	848	718	658	587
誘拐	2	3	2	6
麻薬密売	203	192	321	350
強姦	177	158	145	153

(6) サカテカス州

・人口約162万人 犯罪認知総数(1月～3月)5,877件

故意殺人の犯罪発生率(人口の割合)は、他の州と比べても非常に高い数値となっています。殺人の多くは麻薬関係者と言われておりますが、サカテカス州では複数の麻薬カルテルが抗争を行っているため、十分注意が必要です。

・邦人被害（1月～3月）0件

直近での犯罪被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	4月～6月(件)	7月～9月(件)	10月～12月(件)	1月～3月(件)
故意殺人	258	309	289	241
故意傷害	498	391	425	367
強盗	440	382	473	453
窃盗	1,046	1,085	1,198	970
脅迫	344	332	318	348
誘拐	2	6	5	4
麻薬密売	90	100	57	69
強姦	85	68	75	79

3 安全に関わる諸問題及び対応策

- (1) 麻薬に関係する犯罪組織の抗争が激化しており、これら組織が関与した発砲事件や殺人事件、警察官を直接狙った襲撃事件も発生しています。それら事件に巻き込まれないためにも、夜間の外出やそれら組織関係者が集まるようなバーやディスコ等の出入りについて極力避けるとともに、違法薬物には一切かわからないことが大切です。また夜間を問わず一般市民が利用する公共の場所においても、発砲事件に遭遇する可能性は十分に考えられるため、普段から周囲の変化に敏感になれるよう注意して下さい。
- (2) 銃器を利用した強盗も増加しているため、この様な事件に巻き込まれないためにも発出される領事メール等を参考に、行動の制限（犯罪が多発する時間帯の外出制限、事件多発地域への通行を避ける等）を行うことで、被害に遭うリスクを下げるのが重要です。また、銃器を利用した車両強盗事案では、メキシコ人被害者が抵抗したために撃たれる死傷事件が少なからず発生しています。万が一にも事件に遭遇した際は、抵抗せず犯人の指示に従って下さい。
- (3) コンビニエンスストアやレストランの駐車場における車上荒らしが引き続き発生しており、これら店の立地や利用する時間帯に注意するとともに、車両を離れる際は貴重品を放置しないよう注意が必要です。
- (4) バヒオ地区内では空き巣被害や強盗被害が目立ちます。万が一にも空き巣被害を確認した際には、まずは911（警察、消防、救急への緊急通報番号）通報し警察官同行のもと住居内の確認を行って下さい。犯人が住居内に残っていた場合、拳銃等を所持している可能性が非常に高いことから、住居区の警備員の同行があっても必ず警察官の到着を待って下さい。また、強盗被害に遭遇した場合は、絶対に抵抗することなく犯人の要求に従い、まずは自分自身の命を守ることを優先して下さい。

4 その他

事件事故に遭った際は必ず911番通報を行うよう心掛けて、犯人の逮捕を希望する場合は、検察局 (Ministerio Publico) に被害届を提出して下さい。被害届を提出しない場合は、発生した犯罪が事件化されないため、犯罪者が野放しとなります。

同時に管轄する大使館及び総領事館にも被害報告をしていただければ、日本人の皆様へ注意喚起することができるとともに、治安当局に対して事件の再発防止等を当館から訴えることができるためご協力をお願い致します。

5 日本人被害の犯罪発生状況

在メキシコ大使館ホームページの「安全情報」に邦人被害一覧を掲載しておりますので、ご参照下さい。

以上